

片瀬社協
だより

しあわせ

平成23年6月25日発行
編集・発行
片瀬地区社会福祉協議会
藤沢市片瀬3丁目9番6号
片瀬市民センター
☎ 0466(27)2711



おかあさん、あわてないで!

片瀬山駐在所 勤務員
佐武 隆一

「おかあさん、助けて!」
息子さんからこのような電話があつたらまずあわてないかたはいないでしょう。

いわゆる「オレオレ詐欺」の被害に遭う方が後を絶ちません。神奈川県内においても、昨年は七八〇件・十一億円以上の被害がありました。これは毎日二件・三〇〇万円以上が発生し、誰かが被害に遭ったこととなります。そして本年は更に厳しい状況になっております。

その被害のほとんどが女性で、年代で見ると五十歳代から増え始め、六十歳〜七十歳代が非常に多いことがわかります。本職も一人っ子です。親不孝者

のレッテルを貼られそうですが、横浜で一人暮らしをしている七十歳の母親には携帯電話を持たせていますが、自分から連絡することはほとんどありません。そのような忙しい?息子さん達は実際に多いと思います。その離れた家族間のコミュニケーション不足が、この犯罪を発生しやすく増殖させた背景の一つだと、息子の立場で思います。

「おなかを痛めて生んだ子の声ぐらいわかるわよ」と自信満々の方々、注意してください。皆さんそう言っただまされているのです。

山口等の詳細までは知らなくとも、「振り込め詐欺」「オレオレ詐欺」については、聞いたことがない方はないと思いません。しかし、実際に被害にあつた皆さんは共通して「まさか自分が…」が邪魔をしてしまつていくのです。そこへ不安をおおるような電話や少しの儲け話があると平常心を失つてしまひ、被害に遭うこととなります。人間は弱いものなんです。

んは共通して「まさか自分が…」と言っています。

平常時に、警察や行政の防犯チラシや、テレビ・ラジオ等のニュースで見たり聞いたりしていても、この「まさか自分が…」が邪魔をしてしまひ、常日頃の段階でしっかりと警戒をする気持ちがなくなつてしまつていくのです。

また、三月十一日の震災後すぐに皆さんの自宅を訪問したり、電話やメールを使つたりした義援金詐欺も発生しています。

善良な皆さんの親切心や親心を巧みに利用して大切な財産をだまし取る「詐欺」は、他人の財産を盗む泥棒や他人を傷つける傷害事件等と同様、いやそれ以上に憎むべき犯罪と、私は思います。

このような犯罪の被害に遭わないためには、まずは、電話で身内や警察官・金融機関の職員を名乗つても絶対に簡単に信用しない警戒が必要で、訪問者に対しても同じです。

そして自分にそのような不審なことがあつたら、親戚や知人、近隣のお友達にすぐに知らせることが大切だと思ひます。あなただけを狙つている犯罪ではありません。一人だけで犯罪情報を抱えていても何もなりません。この犯罪は、地域限定で発生しているものでもありません。敵は次々に新しい手法で皆さんをだまそうと攻めてくるのです。

しかし、善良な方々が「被害に遭わない」というしつかりとしたネットワークを築くことで撲滅も可能な犯罪なのです。

ここ片瀬地域でも残念ながら毎年被害が出ております。古くからの伝統があり良好な地域関係も大切に残つている片瀬、安全安心ス



テーシヨンや防犯カメラも設置され地域の防犯意識が高い片瀬：そんな素敵な街で振り込め詐欺の発生だけではありませんが、犯罪を発生させないよう、皆さんが被害に遭わぬよう、そしてご近所の方も被害に遭わぬよう、地域の皆さんと協働で私も頑張っています。

片瀬地区の片隅で家族と共に駐在所という特殊環境のもと勤務できることを誇りに思っております。今後とも宜しくお願いします。



佐武さんは大変気さくな方です。地域の行事にも積極的に参加され、防犯に関するミニ情報をお話して下さいます。

片小交流会

今回で九年目となる片小四年生との交流会のテーマは「おじいさんおばあさんが暮らした戦後の暮

らしの様子」についてのお話です。今年の四年生も、元氣いっぱい活発な話し合いができました。

特に、江ノ電についてや、昔の釜や冷蔵庫など電気を使わない道具や五右衛門風呂などにびっくりしていました。

昔の遊びでは、特に竹馬やゴムとびに行列ができていました。

最後は「よさこいソーラン」を児童全員で踊って協力者の方々から大きな拍手が沸き起こっていました。

今回も元氣な子供たちに触れることができた楽しい半日でした。



片瀬地区社会福祉協議会 総会報告

五月十日（火）午後一時半より片瀬市民センター二階ホールにて定期総会が開催されました。

平成二十二年度事業報告および決算報告、また平成二十三年度事業計画（案）及び予算（案）等を検討、参加者全員一致で承認されました。

また社協では、今回の東日本大震災に対して、義援金二十万円を寄付させて頂きました。

福祉講演会



昨年の十一月十三日（土）一時半から片瀬市民センター二階ホールで、元NHKアナウンサーで現在は歌手の吉川精一氏を講師に、定年後の生き方について話していただきました。

さすが話術のプロで、歌あり笑いあり涙ありのお話に参加者一同聞きほれたひとときでした。

- ◎ 鵠生園は片瀬・鵠沼地区を担当し、調理から配食までを行っています。
- ◎ 配食は昼食のみです。配食時間は11時頃～12時頃となります。
- ◎ 1食600円。（ただし、非課税世帯は500円）事前に食券を購入していただきます。

※訪問調査をさせて頂き利用等の決定等、ケアプラン・介護予防プラン等に基づき利用開始となります。

お問い合わせ 在宅介護支援センター鵠生園
Tel:0466-28-2662 Fax:0466-26-6950

児童福祉の 現場から

児童養護施設に入所している子供たちは、高校を卒業すると、施設から「卒園」して行かなければなりません。

中には物心ついた頃からずっと施設で育ってきて外の世界をあまり知らない子供もいるので、皆、卒園する前には一定期間の『自立訓

練』を受けて巣立っていきます。ごくたまには大学に進学する子もいますが、大部分は実社会に入っていくのです。

Nさんが勤める施設でも桜の花に送られて、そうした子供たちが数人、今年も施設の門を後にしましたが、そのうちのひとりの女子の背中を、Nさんはとくに励ましの気持ちを込めて見送ったことで

しあわせとは



『親父は倅せ者だ。倅せな一生だった』

昭和三年生まれ、八十二歳。

そろそろ万が一のことも考えねばならぬ歳。私の葬式には、そう挨拶してくれと、長男夫婦に言った台詞です。

片田舎の商人の長男に生まれ、商人には学問はいらないという土地柄の中、

大学に進学し、大いに青春を満喫し、そして学校を卒業するや家業を継がず、好きな道を選んだ自己チューの、超我儘者です。

しかし苦労しました。倅せというのは、心配せずに三度の飯が食えることかと思ったこともありました。その弱気をかなぐり捨てさ



葬式の挨拶

片瀬山五丁目 櫻井益男

した。というのは、その子の姉も数年前に同じ施設を出て今はある工場に勤めているのですが、実は、その姉妹の父親はもうずいぶん前に亡くなっていて、姉妹は施設の近くのお寺にお骨を預かってもらって入所していたのでした。そしてその子は、「お姉ちゃん二人で一生懸命に働いてお金を貯めて、お父さんにお墓を建ててあげる」



のを楽しみに、卒園していったのです。その姉妹の『夢』が実現するまでには、この先更に長い時間がかかることはいうまでもありません。しかしNさんは、きつとそのうち、あの姉妹が新しいお墓の前で二人そろって手を合わせる日が必ず来ることを確信しているそうです。

ど、別にと、どこかのタレントのようなことを言えば嘘になりませんが、寂しさ、悲しさを補ってくれたのは、間違いなく私が選んだ仕事です。仕事が全てを忘れさせてくれました。その仕事も三月末にピリオドを打ちました。私の業界で八十二まで現役で仕事を続けたのは稀有のことです。

一人暮らしにも慣れ、元々おさんどん好きが身を助け、典型的な後期高齢者の一人住まいを楽しんでいますが、あ、今年がカミさんの十三回忌だと気がつきました。早いものだなと思いつきながら、思わずほろ苦いものを噛み締めました。私が倅せ者だと粋がついていられるのは、カミさんの犠牲と支えがあったからではないかと。

因みに、私は『櫻井康裕』のペンネームで、テレビドラマ『水戸黄門』のシナリオを執筆しております。

新任職員のご紹介

☆脇田秀樹市民センター長・公民館長



四月の人事異動により着任いたしました脇田秀樹と申します。どうぞよろしくお願いたします。

地域福祉の向上のため、日頃から様々な活動に取り組まれている皆様には、心から敬意を表します。

市民センターとしては、これからも地域福祉を推進していくため、地区社協、民児協、市民センターが連携し、協力し合えるよう、事務局としての役割をしっかりと果たしていきますので、よろしくお願いたします。

☆金山喜代美さん



四月から福祉窓口の担当となりました金山喜代美です。

片瀬地区の皆さんのお手伝いができるよう頑張ります。

着任されて1か月の脇田センター長にインタビューしました。

Q.ご出身は？

脇田センター長(以下W) 生まれも育ちも平塚です。現在も、妻・娘2人と平塚に住んでいます。

Q 前の職場は？
 W こども青少年部子育て支援課に3年間いました。子ども手当、小児医療助成、ファミリーサポートセンター事業などを担当していました。

Q 片瀬の印象は？
 W 江の島あり海ありと、片瀬は藤沢の顔なので、市内で注目を浴びるところと実感しています。個人的には本庁以外での勤務は初めてで、毎朝江ノ電に乗ることが新鮮です。以前から江ノ電での通勤に慣れていたので、最初はウキウキしました。

Q 趣味は？
 W 以前は、平塚から海に出てよく釣りをしました。最近、週に一度近くの市民農園で野菜作りに励んでいます。

終始穏やかなお話ぶりの脇田センタ―長でした。これから、どうぞよろしくお願いします。

私の健康法



片瀬一丁目 鈴木豊生 いとお 七五歳

健康であれば何でも出来る

57歳で会社の定期健康診断で忠告を受け、以来万歩計を着ける日

々。一日1万歩を2年間頑張ったが、歩きでは健康体が作れないことを悟った。59歳で、「マラソン」を立ち上げ、半年間頑張つて、ホルルマラソンで完走した。以来、走れる環境に恵まれ（湘南サイクリングコース・走り仲間）、早朝マラソンを日課とし、バナナ1本で15km前後を走り、月間300kmを目標。常に自己記録（69歳・3時間43分）更新を目指し、自己との死闘を演じ、年に一回〜二回のフルマラソン大会に出場。70歳での第一回東京国際マラソンでは、悪天候の中3時間52分で快走し、金では買えない感動・達成感・自信を得た。走り始めて十五年、得たものは、年を意識しない人生だ。毎年の健康診断では、湘南内科・消化器科クリニック渡辺先生から優等生と云われ医者無縁。身長も2cm伸びた。体力測定結果は50歳代前半。毎日15km走つても疲労感はない。

フルマラソンに挑戦する限り、健康は永遠だ。先祖から引き継いだ「相模国鎌倉郡片瀬村六九七番字宮畑（明治十三年地券）」の地で、久遠の理想を掲げ、行け行けドンドン!!

まちのお医者さん



歯科診療室にて

江ノ島駅ビル歯科（片瀬三丁目）

湯川善弘

平成三年に、モノレールの駅ビルに歯科を開業しました。平成十一年に体制を一新し、一般小児、矯正、口腔外科と専門性をいかした治療に努めています。この間、様々な年代の患者様のお口の中を診させて頂きました。

その中で、子供たちの歯が磨けているか否かは、お母様の意識の違いが如実に現われる事に気づきました。お母様の清掃性が優れていれば子供の歯も申しかです。子供の頃からの歯磨き（ただ磨くのではなく、磨けてい

る）の習慣は、とても重要です。この先、何十年も歯を健康に保つための第一歩になるのですから。なかなかうまくいかない時はご相談下さい。突破口が見つかるかもしれません。

又、今回の東日本大震災では、未曾有の被害に見舞われました。避難所の方々が様々な物資の援助を求めました。その中には歯ブラシもありました。防災グッズの中に歯ブラシや洗口剤、入れ歯のケアグッズ等も加えてみてはいかがでしょうか。

お詫びと訂正

前号(37号)「私の健康法」の記事中、筆者のお名前が間違っておりました。正しくは川内道雄様です。謹んでお詫びし、訂正致します。

今回の題字「しあわせ」は片瀬海岸二丁目の岸本唯さん（片小6年生）に書いていただきました。

編集後記

このたび「東日本大震災」の被災者や関係者の皆さまに、心よりお見舞い申し上げますとともに、被災地の一日も早い復興をお祈りいたします。

日頃、当り前のように使用している電気、ガス、水道の有難さを身にしみて感じている今日この頃です。

新しい部会員が加わり、より充実した紙面づくりを目指していきます。